3Rの推進や環境負荷の低減に向けた取組に関するチェックシート

区分	チェック項目	チェック欄
1 管理体制 の構築及び 環境意識向 上の取組	廃棄物(産業廃棄物に限りません。以下同様です。)の保管場所を常に点検し、清潔に保っている。	
	廃棄物を管理するための担当部署又は役職を置いている。	
	<u>部署名:</u>	
	産業廃棄物だけでなく、一般廃棄物の発生量も把握して、記録を作成している。	
	年度: 一般廃棄物の発生量:	
	従業員に対して、環境省や京都市などが発信している情報等を活用して、廃棄物の適正処理や3R(発生抑制・再使用・再生利用)に関する意識啓発を行っている。	
	従業員に対して廃棄物の適正処理や3R(発生抑制・再使用・再生利用)に関する研修やイベント等を実施(あるいは外部のイベント等に参加)している。	
	<u>主な内容: 実施頻度:</u>	
	計(/5)
2 環境関連 制度の活用	環境マネジメントシステム規格(ISO14001、KES等)の認証を取得している。 	
	<u>取得規格: 取得日: 取得日: </u>	
	京都市の環境関連制度を活用している。 (制度例:2R及び分別リサイクル活動優良事業所認定、エコドライブ推進事業所登録、「DO YOU KYOTO?プロジェクト」への参加等) <u>活用制度:</u>	
	京都府の環境関連制度を活用している。 (制度例:エコ京都21、京都府省エネアドバイザー派遣事業、環境にやさしい配送宣言等) 活用制度:	
	一般社団法人京都府産業廃棄物3R支援センターの制度を活用している。 (制度例:ゼロエミッションアドバイザー派遣事業、人材育成等支援事業等) 活用制度:	
	上記の他にも環境関連制度などを活用した取組を行っている。 (例:従業員の3R・低炭素社会検定の受験を奨励、京都環境賞の受賞等) 〕	
	計(/ 5)
3 廃棄物の 3R(リデュー ス・リユース・ リサイクル)に 関する具体的 取組	コピー用紙やチラシ等の紙ごみの削減に努めている。	
	製造する製品や利用する製品について、大きさや形状を見直したり、過重包装を避ける等、 廃棄物を削減する取組を行っている。	
	消耗品に当たる事務用品についても、一度きりではなく、繰り返し使用するように努めている。	
	リユース品や中古物品を積極的に使用している。	
	産業廃棄物と事業系一般廃棄物の分類はもとより、品目ごとの専用回収ボックスを設ける 等、再生利用を視野に入れた積極的な分別を実施している。	
	容易に再資源化できる品目(段ボール、紙パック、新聞、雑誌、缶・びん・ペットボトルなど)に ついては、特に分別を徹底して、再資源化につながる取組を行っている。	
	各種認証製品等、環境に配慮された製品を積極的に購入、使用するようにしている。	
	その他の3Rに関する具体的取組()	
	計(/8)

	気候変動の問題を日頃から意識し、あらゆる経営活動において脱炭素等の取組を進めるよう にしている。	
4 その他環境 負荷の低減 に 関する具体的 取組	ノーマイカーデーの実施や、PHV・FCVや電気自動車等、環境対応車の導入を進めている。	
	廃棄物については、廃棄物処理業者等に相談することにより、よりよい排出方法になるよう日 頃から見直しを行っている。	
	特に力を入れている2R及び分別・リサイクル活動がある。【優れた取組については、2R及び分別・リサイクル活動優良事業所への認定を推奨することがあります。】	
	その他環境負荷の低減に関する具体的取組 (例:事業場内の緑化、食品ロスの削減、再生可能エネルギーの利用、環境負荷(運搬距離等)を考慮した産廃処理場の選定、ESGに配慮した経営、環境に関する取組の情報公開等)	

計(/5)